



# Renaissance くるさき

No.51  
2024.1

副都心黒崎開発推進会議

発行 副都心黒崎開発推進会議 広報委員会  
事務局 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ5F TEL/FAX093-642-1001

きのえ たつ

## 「甲辰」新しい物事の始まり 活力あふれる街へ!

★甲辰(きのえ・たつ)・・・2024年の干支。  
干支は10種類の十干(じっかん)と12種類の十二支の組み合わせからなる。「甲辰」の意味は、コツコツと蓄えられた学びが芽を出し、努力が花を咲かせることを指し示している。

## 「北九州市の挑戦～成長への再起動～」

北九州市長 武内和久



新年おめでとうございます。

副都心黒崎開発推進会議の皆さまには、日頃より、黒崎のまちづくりに熱心に取り組んでいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、2月に市長に就任した直後から、北九州市を「再起動」するべく、全力で走り続けた1年となりました。

対外的な情報発信を強化するとともに、多くの企業へ積極的にトップセールスを行い、IT・半導体関連企業等の進出決定をはじめ、多くの企業と連携協定を締結しました。また、北九州空港滑走路3,000m化の着工、響灘沖の洋上風力発電所の着工など、巨大プロジェクトが大きな一歩を踏み出し、明るい兆しが見えてきました。

また、より大きな視野での都市の発展へ、北部九州エリアでの連携を強化すべく、福岡市長、下関市長とそれぞれ12年ぶりとなる「トップ会談」を実施。スタートアップ支援や観光、航空機の代替着陸など、様々な分野での取組がスタートしています。

そして、昨年12月には第2子以降の保育料無償化を実現したほか、公共施設の老朽化に対しては、全2,402施設の外壁を一斉点検し、急ピッチで対策を講じるなど、安全・安心な暮らしに向けても着実に動き出しています。

北九州市は、昨年2月に市制60周年を迎えましたが、現在、人口減少や政令市の中でも低い経済成長率など、多くの課題を抱えています。

しかし、北九州市はものすごい底力(ポテンシャル)を持っています。高い技術力を持つ企業、産業や物流のインフラ、災害に対する強靱性、都会も自然も歴史も食もあるまちの魅力、そして、多様性を受け入れる熱い人情とまちへの愛着を持つ市民の皆さま。これだけの魅力が揃ったまちは他にありません。

市民全体でこれらの力を引き出し、有機的につなげることで、人口流出を食い止め、成長軌道に乗せていくことができると確信しています。

現在、希望あふれる北九州市の復活に向け、皆さまと共に進むべきベクトルを示す新ビジョン(北九州市基本構想・基本計画)の策定に取り組んでいます。数多くの有

識者や約4万5千名の市民の声を反映し、3月末に発表する予定です。

副都心黒崎開発推進会議の皆さまには、8月に開催した「ミライ・トークin八幡西区」へご参加いただいたほか、新ビジョンに対するご意見をいただき、重ねてお礼申し上げます。

黒崎は、交通の結節点であり、生活利便施設が充実しており、住環境が整ったまちです。また、世界に誇れる企業が数多く立地しています。

昨年、黒崎祇園山笠や黒崎96の日への参加、また各企業を訪問するなかで、皆さまの黒崎を愛する熱い想いを体感しました。今後、黒崎が更に住みよいまちとなるよう、地域や企業の皆さまと連携し、まちの魅力を高めていきたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

今年は、2月に市版としては全国初となる「地球の歩き方北九州市版」が発行され、4月には北九州空港に新たな定期貨物便が就航するなど、賑わいや成長に向けた動きが加速していきます。

北九州市の更なる発展と、その果実である暮らしの安全、心豊かな生活の実現に向け、北九州市のポテンシャルを磨き上げ、世界から憧れられるまちを目指してまいります。

「動き出した、北九州市。」今年も、ワクワクする北九州市の未来をともに創ってまいります。

結びに、副都心黒崎開発推進会議の今後ますますのご発展と、会員の皆さまのご健勝をお祈りし、挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶文



副都心黒崎開発推進会議 会長 山口典浩



副都心黒崎開発推進会議の会員の皆様、また活動にご協力ご参加いただいている皆様には、弊会議の活動にご協力いただき有難うございます。

昨年は Next Commons Lab の林篤志さんをお迎えして NFT を使った地域の新たな枠組や公助から共助への LOCAL COOP のお話をさせていただきました。その後、山古志地区では村民 10,000 人計画が進んでいるようです。また ChatGPT をはじめ生成 AI が社会に実装し始めた年として歴史に残る年になるのではないかと思います。一方斎藤幸平をはじめ論壇では資本主義経済の見直し論も喧しく言われ、地域経済を考

える上でも新たな視点が必要となってきています。時代は大きな転換点に差し掛かっているのではないのでしょうか。地域の活動も今までの延長線上の活動だけでは機能しないことが自明となってきました。そこで昨年はテーマとして掲げてまいりました【「にぎわい」から「いとなみ」へ】の実証実験として黒崎96の日の乾杯大会と併せて『共に創る、社会課題解決の未来』として社会課題解決にチャレンジしている団体・組織の皆さんの活動発表と交流の会を開催し多くの方にご参加いただきました。また開かれた組織として誰でも参加できる定例会を2か月に一度のペースで開催しておりますので問題提起や活動発表などご利用ください。会費につきましても、会費を払えばどんなメリットがあるかの互惠・互酬の利己的な位置付けから、会費はあくまでも未来の地域や他者のための投資としての利他的な位置付けとして捉えてまいります。具体的な活動には参加できないが会費や寄付という形で地域愛を表明するなど多様な関わり方でご協力いただければと思います。

本年も多様で豊かな社会構築のための自律分散型組織を目指して活動をしてまいりますので皆様方のご協力ご参加よろしくお願いたします。



# 黒崎96の日 2023

黒崎96の日実行委員会 実行委員長 向井 明



『住む人、働く人、みんなの記念日』を年齢や職業を問わずお祝いする黒崎96の日も今年で8年目を迎えました。昨年から再開した乾杯大会には約2,000名の方々にご参加いただき、ステージ上でのPRを含むイベントも「theLACK」のお二人による素晴らしい歌声と進行で、商店街も大いにぎわいました。同時開催事業として企業等からは、「企業対抗運動会(9/2・JR黒崎駅)」、「ちくてつ応援列車の運行(8/6~9/6・筑豊電気鉄道)」、「みらい館自由観覧デー(9/6・安川電機)」や「SNSフォローキャンペーン(9/6・スターフライヤー)」、「ブックリサイクル(9/6・八幡西図書館)」、また学生による「SDGs発表(ユースステーション)」や「金星カレー販売(星琳高校)」、商店街各店舗による「96の日協賛セール」などの協力をいただきました。今年は、これまでになくお子さま連れでのご参加が多く、準備していたソフトドリンクが足りなくなるという嬉しい変化が起きました。

また昨年、且過市場に引き続き被災した枝光本町商店街応援のため「96の日W応援Tシャツ」を作成し、その売上金全額(96,000円)を被災復興への寄付金として贈呈(10/13)しました。

さらに地域住民も楽しんでいただけるように「松並木ライトアップ(9/6)」を行い、商店街と松並木をつなぐ黒崎びびしんホールにて「共に創る、社会課題解決の未来」と題して討論会を同時開催し、様々な団体との新たな結びつきも生まれました。このように地域、企業、行政の三身一体による温かい支援によって、無事終了することができました。この場をお借りして、心から厚く御礼申し上げます。今年も昨年の反省点を改善しつつ鋭意努力して参りますので、「ひとりひとりが“黒崎”というまちを愛してください。」よう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



## 情報交流会～共に創る、社会課題解決の未来～



楳栗アサシスト 代表取締役 黒崎まちなか大学 学長 寺下 良真

2011年から黒崎の街を使ったチャレンジャーのための多世代コミュニティ「黒崎まちなか大学」を運営しています。2万人以上の方々に関わっていただき、300以上の企画を実践し、20以上の企業・団体を産んできた「黒崎まちなか大学」は、2023年末をもって終了します。このコミュニティ事業は、①黒崎の遊休資産を活性化し、②関門北九州地域(ひいては日本全土)に「チャレンジ」の流行を再生させ、③長期停滞に苦しむ日本の社会的問題の本質を探ることを目的に、私が設計し立ち上げ運営してきました。これらの3点すべての要点を完遂できたことから、今回無事に終了できる流れとなりました。

「情報交流会」の基調講演では、「社会課題とは何か?」というタイトルで、主に③について情報共有させていただきました。同日お集まりいただいた社会活動家の方々の背中を押すことは出来たと自負しております。

また今後の私は実業を主としつつも、引き続きチャレンジャーの皆様の後押しができたならとも考えております。



## 新春の会 新春講演会&意見交換会

『まだ見ぬ社会をつくるため ～コミュニティ・資本・テクノロジー～』

Next Commons Lab 林 篤志 氏



社会を変えるのではなく、新しく地方からポスト資本主義社会をつくる。130を超えるプロジェクトを手掛けられている。その中で新潟県の山古志村の事例をもとに講演してもらいました。NFTを活用した電子住民票や資金調達。自治体の存続が危ういなか、公助から共助が主体となる社会「LOCAL COOP」の実現へ。

地域創生の新たな可能性を考える、有益な講演でした。講演後は会食しながらの意見交換会。講師を交え八幡西区長をはじめ、地元企業や商店街、大学生など多方面の方が集い、活発な意見が交わされました。



## 黒崎タウンシップカフェ

タウンシップ推進委員会 委員長 権頭 喜美恵



コロナもすっかり明けての年度となりました。活動の再開も増えてきて、慌ただしい日々をお過ごしの方も多いのではないのでしょうか。これから考えていかなければならないこと、動いていかなければならないことは、「人が住みたくなるまち」をつくることです。産学官民といわれるように、さまざまな機関や異業種、多世代によって真剣に意識し考えていかなければならないと思っています。

今年度は、学生主催のカフェにとどまってしまいましたが、それもよしとしましょう。また、黒崎96(クロ)の日に乾杯イベントと同時開催で、社会課題を地域みんなで解決するための情報交流会も開催しました。多くの方にお集まりいただき、今、必要とされている事だと感じられます。そのようなこともふまえて、タウンシップカフェでは、「軽くお茶など飲みながら、和やかに、時には熱く、さまざまなテーマをもとに大好きな黒崎のことについての自由な語り合いを楽しもう」を企画していこうと考えています。

多世代、異業種の方々とともに、その立場を越えて、①「社会課題って何?」を共有、そして解決に向けて議論しよう。また、②黒崎にある社会資源の発見、共有、そして、具体的な活動に繋げるために、今、何から始めるのか。時には、ゲストをお迎えして、黒崎の未来(まちづくりビジョン)を考えよう。

定例会は、月に1度(毎月第4木曜日)、MOYAIステーション96cafeにて、10名前後を定員として開催したいと思います。会員制ではないので、どなたでもご参加オーケー。毎月第4木曜日は、北九州子ども食堂ネットワーク加入で運営している子ども食堂「もえもえキッチン96カフェ」の日でもありますので、夕方17時くらいからのボランティアや、お手伝いからの参加も歓迎いたします。



## 第五回 黒崎宿場夜市

曲里の松並木活性化委員会 委員長 赤尾 拓哉



今年度から、新委員会として発足しました【曲里の松並木活性化委員会】の赤尾拓哉です。毎月第二日曜日9:00~11:00に曲里の松並木の清掃活動、灯りのイベント【黒崎宿場夜市】、常設ライトアップやお洒落なカフェなど設営。今後、曲里の松並木を【和】をテーマとして老若男女問わず、散歩コースやデートスポットで利用してもらえる空間を創るために活動しています。

今年の10月14日(土)・15日(日)で行われた【第五回黒崎宿場夜市】では、地域の幼稚園や保育園の園児、小学校の児童、5,000人以上の子供たちに作成してもらった紙灯籠を曲里の松並木に並べ、約50個のLEDライトで松並木をライトアップして幻想的な空間を創り出し来場者様に楽しんでいただきました。また、地域企業の山九(株)・クラウンパレス北九州・第一生命(株)・イオンタウン黒崎・まなべかおり絵手紙教室の方々にも紙灯籠の作成をしていただき岡田宮の境内に紙灯籠や神武天皇と神功皇后の高さ2mの作品を展示、そして鳥居のライト

アップ。松並木横のDCMからは空き地を活用させていただき外からの松並木ライトアップや作品の展示など、新会場を設け昨年よりも規模を大きく開催しました。松並木や岡田宮の【灯りの会場】と図書館前広場の【出店・ステージ会場】には、約3,500人の来場者で2日間賑わっていました。

協力団体企業69、協賛企業35、スタッフ50名以上のボランティアのご協力が無事に開催することができました。ありがとうございます。

今後も曲里の松並木を活性化する事で、地域の方はもちろん市外県外からも足を運んでいただけるよう活動していきますので、ご協力の程よろしくごお願い致します。





## 黒崎のまちづくり



八幡西区長 神野 洋一



謹んで新春のお喜びを申し上げます。

副都心黒崎開発推進会議の皆様には、日頃から黒崎のまちづくりにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

昨年は、区内各地で様々な行事が復活し、活力の戻る年となりました。黒崎地区においても、2,000人が商店街を埋め尽くした「黒崎96の日」乾杯大会をはじめ、黒崎祇園山笠や黒崎よさこい祭り等が盛大に開催され、多くの来街者でにぎわいました。

北九州市では現在、皆様からもいただきました貴重なご意見を参考に、新ビジョンの策定を進めています。その成果指標には、市内総生産額4兆円や、人口の社会動態プラス1,000人などの具体目標と並び、黒崎の商業地価向上などの目標も掲げられる予定です。クロサキメイト跡の活用や黒崎駅前の商店街振興など課題は山積ですが、大型マンションの建設ラッシュに伴う人口増など、明るい兆しも出てきています。これまで副都心黒崎のまちづくりに取り組んでこられた皆様のお力添えをいただきながら、新ビジョンの実現と黒崎の明るい未来につながる取組みを推進してまいりたいと思います。

また、今年には八幡西区制50周年の節目の年となります。八幡西区役所においても、50周年記念事業等を計画しています。今後も、皆様と連携して、全力で取り組んでまいりますので、引き続き副都心黒崎開発推進会議の皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 黒崎よさこい祭り2023

黒崎よさこいまつり 実行委員長 入江 真一



5月20～21日の日程で15回目となる「黒崎よさこい祭り2023」を開催し、新型コロナウイルス感染症の5類見直し後から初めての開催のなか、土日合わせて67団体約1050名が九州中国地域さらに愛知県からも集まり、各団体特徴のある演舞を繰り広げました。

新型コロナの影響でかなりの団体が活動を休止若しくは解散したことにより、2019年の102団体からはかなり少なくなりましたが、それでも多くの団体が黒崎に集結してくれたことに深く感謝しています。

一日目の20日午後は昨年に引き続き、北九州市立大学よさこいサークル主催の「青春の宴」を開催、九州山口の10大学が参加して、若さ溢れる演舞を繰り広げました。二日目の21日は多くの参加チームがオリジナルの演舞を繰り広げ、久しぶりに街中が賑やかになったと思います。

終了後、北九州市立大学の学生らと話し合いを重ねて次年度以降の開催への学生の関わり方を模索しています。彼らがこの北九州でイベントに深く関わることで北九州への思いを持って貰えたらと思います。

最後に、多くの関係者の皆様のお力添えで盛大かつ無事に終了しましたことを実行委員会一同感謝いたします。



## 第12回黒崎子ども商店街

黒崎商店組合連合会 会長 田中 大士



黒崎子ども商店街は2011年から商店街をはじめ、駅や神社など黒崎地区で毎年1回11月の第2土曜日に開催しています。

子ども商店街の目的は

- ①子ども達に色々な職業を学んでもらい
  - ②会社やお店のファンになってもらいたい
  - ③黒崎地区を活性化してほしい
- と考えたイベントです。

今年も1万人を超す来場者があり、たくさんの方に来ていただきました。関わって頂いたすべての方に感謝です。



## 第7回黒崎まちゼミ

黒崎まちゼミ 実行委員長 満永 恵太



「得する街のゼミナール=まちゼミ」は、商店街などのお店の方が講師となって、お店の専門知識やプロのコツを無料で教えるミニ講座です。黒崎では、過去7回まちゼミを開催しており2023年2月開催のまちゼミでは、新たな試みとして、牡蠣小屋イベントでの出張まちゼミも開催し、牡蠣を使用した様々な料理の振る舞いや、食べ方、作り方等の講座もさせていただきました。お客様からのアンケートでは、99%の方に満足とお声をいただいております。お店の講師の方からも「お店に初めて来られて喜んでいただき再来店につながった」と、【お客様】良し【お店】良し【地域】良しの三方良しの事業となっております。

2024年2月には第8回まちゼミが開催されます。お店の方々もお客様に喜んでいただける講座を準備して心待ちにしています。是非ご参加下さい。



## 正念場 黒崎祇園山笠

黒崎祇園山笠保存会 会長 岡田 良夫



2023年度もなんとか山笠行事をつつがなく執り行えました事、各事業所、地域の皆様のご理解とご協力による賜物と山笠関係者一同、非常に感謝いたしております。

全国の祭りを見渡せば、コロナ禍の影響で4年振りに大々的に執り行われるものが多かったのですが、山笠の山車にまつわる事故での死傷者・負傷者がマスコミにて伝えられ、同様の祭り関係者として、悲しくて、祭り当時者の皆様にはご同情申し上げる日々であります。

当黒崎祇園山笠も各八山笠責任者申し合わせの上、やはり4年振りに通常開催とさせていただきますが、いかんせんコロナ禍の影響はすさまじく、山笠行事を遂行するには沢山のハードルが立ち塞がり、それはそれは大変な活動状況でした。

第一は、なんと云ってもやはり原資。年々減少傾向にはありましたが4年振りにきつ、前夜祭も危ぶまれましたが、良い形でなんとか開催できました。

第二は専門職不足。昇き手は多数でも山昇きは初心者では困ります。山車の作成・山車の巡幸方法やしきたり。山笠巡幸中の事故のほとんどが初心者によるもので、それも大事故につながるものが多く、各山笠には十分な指導をお願いしておりました。何事もなく山笠行事を遂行させていただきました事、心より感謝申し上げます。



## 第25回ヤングサンタ

(一社)北九州青年経営者会議 第63期会長 村山 之崇



令和5年12月17日にヤングサンタを開催いたしました。当日は、多くのボランティアの方にもご参加頂き、北九州市内の児童福祉施設の子ども達、発達支援障害施設の子も達、小児病棟に入院している子ども達、また一般家庭の子ども達へ、総数800名を超える子ども達に夢とプレゼントをお届けすることが出来ました。

このヤングサンタも今回25回目の開催を迎えました。そして私たちの住むこの北九州も北九州市制60周年を迎えたということで今年のヤングサンタは、市制60周年記念事業として開催させて頂きました。その事業の1部として、ヤングサンタでの子ども達へのプレゼントのチャリティーを募るために10月22日に黒崎びびしんホールにて「ヤングサンタチャリティー吹奏楽ポップスコンサート」を開催しました。今期の開催は周年事業として開催させて頂いたため、新たなことにチャレンジし、韓国より吹奏楽団のハンラインドアンサンプルの皆様をお呼びして、毎年演奏して頂いているコンフォートウインドアンサンプルの皆様と一緒に演奏して頂き音楽を通じた国際交流を兼ねたコンサートとさせて頂きました。当日は、600名近い方々にご来場頂き楽しんで頂きました。





## 福岡県警察繁華街創生プロジェクトの取組について

繁華街創生プロジェクト 管理官 安川 大介

福岡県警察繁華街創生プロジェクトは、地域や行政の皆様方とともに各種取組を始め、9年目を迎えました。

昨年10月には、違法な客引きの解消を目的とした繁華街関係者の皆様との合同キャンペーンを行いました。このキャンペーンでは、地元企業の協力を得て作成したチラシを配布することで、効果的な注意喚起をすることができました。

また、暴力団を寄せ付けない街づくりに向けた取組として、繁華街で開催されるイベント等の視察や、暴力団員立入禁止標章の掲示促進、各団体の規約等に対する暴力団排除条項の導入促進にも取り組んで参りました。

本年もプロジェクト員一同、八幡西警察署と協同して健全で魅力あふれる黒崎繁華街の実現に向けて尽力して参ります。

引き続き、皆様の御理解、御協力をお願い申し上げます。



## 委員会インフォメーション

- 組織活性化委員会 委員長：向井 明  
分断されている「ひとびとのつながり」の再結合を目的とし、「地域で活動されている様々なコミュニティ」への「人・物・金」を各々が自主的に協力と支援ができる組織づくりとそのサポートを目指します。
- タウンシップ推進委員会 委員長：権頭 喜美恵  
今年度は、街を愛する人たち、そして、活動や取り組みが世代を超えて繋がり、そのさまざまな活動を通して次の世代を育てていけるような輪をさらに広げていきます。
- 曲里の松並木活性化委員会 委員長：赤尾 拓哉  
当委員会は、黒崎の史跡である曲里の松並木を【和】をテーマに、デートコースや観光スポットにする為、掃除活動から常設ライトや屋外ステージ、和を楽しめるカフェなどの誘致活動を行っています。
- 広報委員会 委員長：河野 俊毅  
黒崎祇園山笠をはじめ、様々なイベントや催しが行なわれるようになり、街中も活気を取り戻したようです。この熱気が多くの方に届くように発信をしていきます。皆さんからの情報提供をお待ちしております。

### ☆ホームページのご案内☆

当会と黒崎のまちの最新情報は、こちらをぜひご覧ください！

<https://k-fk.jimdo.com/>



## 副都心黒崎開発推進会議 会員企業トピックス！

### 安川電機みらい館 「YASKAWA の森」のご紹介

安川電機みらい館 館長 小手川 寿朗

昨年の来客状況は、一昨年の2倍の1万人以上のお客様にご来館いただきました。地元北九州市内のお客様は、武内市長を始め、学校では小学校26校、中学・高校・大学合わせて7校にご見学いただきました。また、黒崎96の日には、星琳高校の生徒さんなど約500名の方にご来館いただきました。

芸能人では、お笑い芸人のフットボールアワーさん、ロングコートダディさんやドラクドラゴンの塚地武雅さんがTV番組のロケでお見えになりました。

また、みらい館の周辺（みらい館は予約制）は「YASKAWAの森」として、就業日の日中（9:00～16:30）は開放しており（飲食・ペット等は禁止）、天気の良い日は保育園の園児さんが元気にボール遊びをしています。皆様も是非一度お立ち寄りください。



### 2023年度 三菱ケミカルグループ 黒崎感謝祭

三菱ケミカル株式会社 総務部 総務管理グループ 大澤 俊介

2023年11月18日（土）、黒崎駅北側一帯に位置する三菱ケミカル株式会社九州事業所のグラウンドおよび正門周辺それぞれの場所において、「三菱ケミカルグループ黒崎感謝祭」を開催いたしました。黒崎感謝祭は事業所の操業80周年を契機に以降毎年開催されていますが、ここ数年はコロナ禍で中断していたため、今年度は4年ぶりに地域の皆様へ開放することができました。

当日は風雪に見舞われて決して良い天候ではありませんでしたが、徐々に持ち直すにつれて来場者が増え、約2千人の方にお越しいただくことができました。ステージでは、ものまね芸人「りんごちゃん」やマジシャン先生によるマジック、また、子供たちによる合唱やダンスなどのショーが披露され、歓声に沸いていました。工場見学も人気があり、普段は近くで見ることのできない赤白煙突の迫力にとっても驚かれています。

来年以降も継続していく予定ですので、多くの皆さまにお越しいただき、お楽しみいただければ望外の喜びです。



### 「ドバイ2023アジアハーフマラソン選手権大会」土井大輔選手が優勝！

黒崎播磨株式会社 総務部 総務グループ 白石 雄輝

黒崎播磨陸上競技部の土井大輔選手が、2023年11月11日に開催された「ドバイ2023アジアハーフマラソン選手権大会」の日本代表として出場し、1時間3分43秒でフィニッシュテープを切り、優勝しました。

本レースは今回が第1回大会であり、この記念すべき初回大会において、男子は当社の土井選手が、女子は柳谷日菜選手（ワコール）がそれぞれ制し、日本人が男女Vを達成しました。

当社陸上競技部は、今後も地域の皆さまからのご声援を力に、更なる高みを目指してまいりますので、引き続き、当社陸上競技部に熱いご声援をよろしくお願いいたします。



土井大輔選手 (27)

※大会ガイドラインの都合上、他大会（大阪マラソン/2023年2月）の写真を掲載。

### 設立75周年

株式会社 ドーワテクノス 専務 小野 貴和

戦後間もない1948年に、安川電機が製造するモータへの部品供給並びに補修・修理からスタート、その後産業用電機品等の販売を行う商社として事業を展開し、今年75周年を迎えることができました。

本年夏には、ロボット、AI・IoTソリューション等を活用した工場自動化の設計からライン組立、最終試験まで一貫して支援する「TSUNAGU FACTORY」を本社隣にオープンしました。このほか、食材品質向上・食品ロス削減等に繋がる超高速凍結機や、省スペース・ローコストで実現可能な小規模植物栽培システム「AGROT」といった、新たな分野へのチャレンジも行っています。

潜在的な社会課題解決ニーズに応え、地域に貢献することが当社の持続性に繋がると考えており、今後もこうした取り組みを通じ、この黒崎とともに発展を目指してまいります。

TSUNAGU FACTORYに関するお問い合わせ（ご利用/見学/取材/ご意見・ご感想など）  
<https://www.dhwa-technos.co.jp/contact/>



### 副都心黒崎開発推進会議

## 令和5年度 定例総会のご報告

さる、2023年7月25日（火）にホテルクラウンパレス北九州にて定例総会を開催しました。定例総会は最初に山口会長の挨拶にはじまりました。

- 〈定例総会〉定例総会に付議された議案は
- 議案第1号 令和4年度 事業報告
  - 議案第2号 令和4年度 収支決算及び監査報告
  - 議案第3号 令和5年度 事業計画（案）
  - 議案第4号 令和5年度 収支予算（案）
  - 議案第5号 会則改正（案）



以上5議案。いずれも皆様のご賛同を頂き承認されました。

#### 〈情報交換会〉

定例総会後に山口会長の挨拶で情報交換会が開催されました。会員同士でコミュニケーションが活発に行われました。

〈御礼〉本総会に協賛広告を頂いた方々には、この紙面をお借りしてお礼申し上げます。



### 寄付のお願い

副都心黒崎開発推進会議では、いつでも寄付を受け付けております。会費、寄付については「恩送り」の考えに基づいて運用させていただきます。  
<https://www.innovations-i.com/column/wisdom-words/13.html> 趣旨ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

お振込先：福岡ひびき信用金庫 黒崎支店 普通預金 1081941 副都心黒崎開発推進会議 会長 山口 典浩